

授業科目	看護教科教育法Ⅱ(2017年度入学生)				単位	2		
履修	選択	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU24109J		
開講年次	3~4年	開講時期	後期・前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP5-2			
担当教員	前田 由紀子							
授業概要	看護教科教育法Ⅱにおいては、看護教科教育法Ⅰの学びを踏まえた上で、看護実践に必要な知識と技術の習得に向けた授業「演習」と「実習」における授業設計について解説する。そのうえで、模擬授業の設計とそれに基づく授業実践を行い、授業実践能力を養う。加えて、看護教育に携わる者としての態度及び実践的教育力・研究能力を養うことを目指す。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校看護科の教育目標及び教育課程を説明する。</li> <li>2. 看護基礎教育における「演習」の学習形態の特徴について説明できる。</li> <li>3. 講義と演習の一体的な指導にかかる授業の設計方法と評価について説明できる。</li> <li>4. 臨地実習における指導計画・指導方法について説明できる。</li> <li>5. 模擬授業を実践し、客観的に評価できる。</li> <li>6. 看護教育の授業研究の必要性について説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	40	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			10		20		30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10	10	10		30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					10		10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				30			30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
高等学校看護科の教育目標及び教育課程を理解し、看護基礎教育における「実習」の学習形態の特徴等について関連する本を読み、広い視野で考えることができる。講義と校内実習の一体的な指導にかかる授業の設計と評価については、グループで意見交換したり、看護学科教員のアドバイスも受け、積極的な姿勢で取り組むことができる。さらに、臨地実習における指導計画・指導方法について関連の図書を読み、その特性、指導法について考えることができる。事前練習を重ね、模擬授業を実践し、その授				高等学校看護科の教育目標及び教育課程を理解し、看護基礎教育における「実習」の学習形態の特徴を踏まえ、講義と校内実習の一体的な指導にかかる授業の設計と評価ができる。さらに、臨地実習における指導計画・指導方法について説明できる。模擬授業を実践し、その授業を評価し、看護教育の授業研究の必要性について理解することができる。				

業を客観的に評価するとともに、看護基礎教育の授業研究				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:高等学校看護教育の目標及び教育課程 看護教科教育法Ⅰの授業を踏まえ、高等学校看護科教育の目標及び教育課程について解説する。	講義	復習:該当部分の復習	20分
2	テーマ:看護基礎教育における授業と学習形態 看護基礎教育における学習形態のうち「演習」について解説する	講義	復習:該当部分の復習	20分
3	テーマ:校内における演習の授業設計(1) 講義と演習の一体的な指導にかかる授業の設計方法について概説する	講義	復習:該当部分の復習	20分
4	テーマ:校内における演習の授業設計(2) 講義と演習の一体的な指導にかかる授業の評価について概説する。	講義	復習:該当部分の復習	20分
5	テーマ:臨地実習における教授活動(1) 臨地実習における学習活動及び教授活動、実習評価について概説する。	講義	復習:該当部分の復習	20分
6	テーマ:臨地実習における教授活動(2) 臨地実習における教員の役割、指導計画及び指導方法について概説する。	講義	復習:該当部分の復習	20分
7	テーマ:校内における演習の授業設計(1) 前回までに学習した内容を踏まえて授業を設計する。単元における位置づけと、指導目標・行動目標を明確にする。	演習	復習・予習:授業計画の作成	60分
8	テーマ:校内における演習の授業設計(2) 前回までに学習した内容を踏まえて授業を設計する。指導内容を抽出し、教える順序を明確にする。	演習	復習・予習:授業計画の作成	60分
9	テーマ:校内における演習の授業設計(3) 前回までに学習した内容を踏まえて授業を設計する。指導方法を選択し、時間配分を決める。	演習	復習・予習:授業計画の作成	60分
10	テーマ:校内における演習の授業設計(4) 前回までに学習した内容を踏まえて授業を設計する。事前準備を十分に行う。	演習	復習・予習:授業計画の作成 ／模擬授業の練習	60分
11	テーマ:模擬授業(1) 作成した授業計画に基づいて、模擬授業を展開する。基礎看護技術演習の模擬授業を実施する。	演習	復習・予習:模擬授業の練習・振り返り	90分
12	テーマ:模擬授業(2) 作成した授業計画に基づいて、模擬授業を展開する。前回とは別の内容で模擬授業を実施する。	演習	復習・予習:模擬授業の練習・振り返り	90分
13	テーマ:模擬授業の評価 展開した模擬授業について振り返り、評価基準に基づいて、自己及び他者評価を行う	演習・GW	復習:模擬授業の振り返り	60分
14	テーマ:看護教育の教材研究 教材研究の進め方及び具体的な教材・教具の作成方法について概説する。	講義	復習:該当部分の復習	60分
15	テーマ:まとめ 看護教科教育法Ⅱで解説した内容から重点項目を概説するとともに、看護教育に関する課題について考察	講義・意見交換	復習:レポートの作成	90分

	する。			
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまで学習した看護に関する専門基礎科目・専門科目及び教職に関する科目			
テキスト	文部科学省：高等学校学習指導要領解説看護編、東山書房 佐藤みつ子、宇佐美千恵子、青木康子：看護教育における授業設計第4版、医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	藤岡完治、堀喜久子編：看護教育の方法、医学書院 その他授業中に必要に応じて提示する。 教材：必要に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	これまで学習した看護に関する専門基礎科目・専門科目および教職に関する科目が基礎になるので、これらの科目を復習しておくこと。			
達成度評価に関するコメント	レポート外の提出物として、ポートフォリオを提出していただきます。授業は看護に関する力が基礎になるので、まずは日ごろの学習に積極的に取り組むことが重要です。授業を受ける際、教育方法等にも関心を持ち、自分の授業のやり方について考えをめぐらせましょう。			